

令和5年度第1回学校評議員会 まとめ

1 日時

令和5年9月20日（水）午前9時25分から午前11時20分まで

2 場所

愛知県立西春高等学校 応接室ほか

3 出席者

学校評議員5名、校長、教頭、事務長

4 次第

(1) 校長あいさつ

(2) 自己紹介

(3) 学校の近況等報告

- ・スクール・ポリシー及び今年度の重点目標、学校評価、年間計画、生徒の概況等について、成田教頭が説明した。

(4) 授業見学

- ・1年～3年の全教室及び体育館を見学した。

(5) 意見交換

<評議員からの意見>

- 文部科学省は文理融合の教育を推進しているが、実際に文系・理系と分けずにカリキュラムを実施することは可能なのか。
→ 大学が受験科目を設定している以上、生徒の進路に有利になるようなカリキュラムを組むために、文系・理系に分けざるを得ないのが現状である。
- 文系・理系の大学に進む際、どうしても苦手教科から離れたいことが基準になっている生徒が多いが、将来の進路に合わせてカリキュラムを意識させるとよい。
- 3年生で文理選択をする、夏休みに文系の生徒が理系科目の講義を受けるなどの選択があるとよい。
- ICTの積極的活用については、コロナ前に戻すのではなく、効果的なものは活かしてけるとよい。
- 全体順位をつけない、2学期制にする学校も増えている。
- 不登校の原因も多種多様なので、中高の連携が必要である。
- 登校している生徒も大切なので、教員の過度な負担にならない形で不登校支援を実施してほしい。
- 高大連携には取り組んでいるか。
→ コースなどがある学校は取り組みやすいが、普通科単独では難しい。
- 今年度から入試がWEB出願になり、中学生が出願するときの緊張感や合格発表での達成感などを味わう機会が減っていく。学校説明会もGoogleフォームでの申し込みとなり、中学生が実際に説明会に参加しているか把握できなくなった。
- 公立高校離れが進んでいるので、学校独自の魅力を発信してけるとよい。例えば、西春祭の動画をHPで観られるとよい。
- 浪人生に対して、1回集まる機会を作ってもらい、アドバイスをいただきたい。
- 制服の見直しを実施するとのことだが、セーラー服、詰襟は残してほしい。
- 制服の素材は、アイロン不要など機能性の高いものにしてほしい。

(6) 校長謝辞

5 その他

- ・特記事項なし